

摂食・嚥下友の会セミナー <プログラム内容>

場所：東京医科歯科大学第1期棟2階 医学部講義室

参加者：摂食・嚥下障害を有する成人・高齢者患者さんに実際に関わっている医療関係者の皆さま。

参加費：5,000円

認定単位：5単位

平成22年8月7日（土）— 摂食・嚥下障害の評価法を学ぶ —

摂食・嚥下障害患者への実践の第一歩は、正確な患者像把握のための評価といえます。ベッドサイドスクリーニングの他、基本的な検査評価法であるビデオ嚥下造影検査（Videofluorugraphy：VF）は、画像を用いながら読影のポイントを簡単に解説します。また、ビデオ内視鏡検査（Videoendoscopy：VE）は、手順、画像によってわかる内容、動画をみる際のコツなどを解説するとともに、検査の実際を行います（医師など有資格者は実技可能）。VEは小グループ制で丁寧に行います。

12：30～（受付開始）

13：00～

13：03～

13：40～

（14：40～14：50）

14：50～15：55 終了

●オリエンテーション：本日のセミナーの流れ

●摂食・嚥下障害患者への評価のポイント
ベッドサイドスクリーニングなど。

●評価法の実際

①スクリーニング・評価

～休憩～

②VEの見方（実習）

・質疑応答含む

講師：日本大学歯学部摂食機能療法学講座（准教授・戸原玄・歯科医師）

千葉県立保健医療大学健康科学部（准教授・千葉由美・看護師） 他、専門職が対応させていただきます。

*上記講師は、共に日本摂食・嚥下リハビリテーション学会評議員・学会認定士

詳細は <http://engetomo.umin.jp/> をご覧ください。